

平成 22 年 9 月 17 日
環境まちづくり事業本部
環境部 清掃管理課

練馬区リサイクル推進計画（平成 21～25 年度）の 平成 21 年度進捗状況について

1. 重点的取り組みの評価

平成 21 年 3 月に改定した現計画は、計画期間内に目標の達成をめざす項目を『重点的取り組み』とした。

重点的取り組みは、3 つの柱からそれぞれ 7 項目（8 取り組み）を選定した。

進捗評価では、新しい取り組みを実施した項目が 3、継続して実施している項目が 3、目標の未達成項目が 2 であり、実施・達成割合は、75.0% である。

2. 継続する取り組みの評価

前計画（平成 18～22 年度）からの具体的な取り組み内容を継続する項目を『継続する取り組み』として現計画を策定した。

取り組み内容を明確化し、毎年度の評価、点検をしやすくした。

進捗評価では、新しい取り組みを実施した項目が 2、継続して実施している項目が 39、未達成項目が 1、未実施項目が 5 であり、実施・達成割合は、87.2% である。

3. 総合評価

未達成・未実施項目を見ると、重点的取り組みでは、分別体験や 3R 学習を実施した学校・園数が目標数に至らなかった。

これは、現計画において、5 年間で達成する目標を数値化しており、年度毎の目標値がないためであった。

継続する取り組みでは、資源回収で容器包装プラスチックの量が計画量に至らなかった。更に清掃特集号の毎年度発行、自主的に活動している団体の把握、実践の核となる組織づくりなどは未実施であった。

新たな取り組み項目は、『重点的取り組み項目』と『継続する取り組み項目』との合計で 5 項目あり、粗大ごみからの再利用事業（モデル）、資源循環センターの設置、区民や事業者を表彰する要綱の制定など本計画の達成に向けた取り組みを進めている。

今後は、未実施項目について検討を進め、実施・達成率の向上を図る。

詳細については、別紙参照

練馬区リサイクル推進計画（平成21～25年度）の
平成21年度進捗状況

1. 進捗状況

取り組み 項目数	新規実施 項目数	継続実施 項目数	目標達成 項目数	実施・達成 項目数計	目標未達 成項目数	未実施 項目数 ×	未達成 未実施 項目計
55	5	42	0	47	3	5	8

2. 実施・達成割合

85.5%（H20年度は89.2%、65項目中58項目）

実施・達成割合は下記～の合計

新しい取り組みを実施した項目『（ ）5件』

計画の継続実施、継続検討項目『（ ）42件』

目標値を達成した項目『（ ）0件』

目標の未達成項目『（ ）3件』

計画の未実施項目『（×）5件』

3. 施策別の進捗状況

(1) 重点的取り組み

施 策	取り組み 項目数	新規実施 項目数	継続実 施項目 数	目標 達成 項目 数	目標未 達成項 目数	未実 施項 目数
ごみを生み出さない社会 をめざして	3	1	1		1	
1 普及・啓発と環境教育 の推進	2	1			1	
2 ごみの発生抑制を優先 する活動	1		1			
多様なリサイクルシステ ムの構築をめざして	4	2	1		1	
1 区民が進めるごみ減 量・資源回収の促進	1				1	
3 区が進めるごみ減量・ 資源回収の推進	3	2	1			
取り組みの輪の広がり をめざして	1		1			
1 取り組み推進のための ネットワークづくり	1		1			
小 計	8	3	3		2	

(2) 継続する取り組み

施 策	取 組 み 項 目 数	新 規 実 施 項 目 数	継 続 実 施 項 目 数	目 標 達 成 項 目 数	目 標 未 達 成 項 目 数	未 実 施 項 目 数
ごみを生み出さない社会をめざして	26		24			2
1 普及・啓発と環境教育の推進	15		14			1
2 ごみの発生抑制を優先する活動	4		3			1
3 再使用の促進と再生品利用の推進	7		7			
多様なリサイクルシステムの構築をめざして	17	2	13		1	1
1 区民が進めるごみ減量・資源回収の促進	2		2			
2 事業者が進めるごみ減量・資源回収の促進	3		2			1
3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進	12	2	9		1	
取り組みの輪の広がりをめざして	4		2			2
1 取り組み推進のためのネットワークづくり	2		1			1
2 計画推進のしくみづくり	2		1			1
小 計	47	2	39		1	5

練馬区リサイクル推進計画（平成21～25年度）の
平成21年度進捗状況の詳細

【進捗評価】欄の表示	凡 例
	印：新しい取り組みを実施した項目
	印：計画を継続して実施または継続して検討している項目
	印：目標値を達成した項目
	印：目標値の未達成項目
	×印：計画の未実施項目

重点的取り組み

項目1

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(1) 子どもの頃からの環境教育			
項目	保育園・幼稚園・学校等での環境・3R教育の推進			
目標	分別体験や3R学習を区立小学校69校、区立幼稚園5園、区立保育園60園で実施すること			
取り組み内容	進捗状況	<p>リサイクルセンターでは、子供向け環境教室を開催した。</p> <p>施設数：延62施設 参加者数：延4,226人 (子ども3,419人、大人807人)</p> <p>清掃事務所では、小学校および保育園、幼稚園でふれあい環境学習を実施した。</p> <p>小学校：67校(5,618人) 保育園：35園(2,062人) 幼稚園：3園(558人)</p>	<p>目標数値は達していないが、取り組みを行っている。</p>	

項目2

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(2) 環境学習の推進			
項目	リサイクルセンター等地域拠点の充実			
目標	4館目となるリサイクルセンターの設置について、土地の確保等や4つの館の運営等に関する計画を策定すること			
取り組み内容	進捗状況	<p>豊玉リサイクルセンターでは、清掃事務所と連携して、粗大ごみからの再利用のモデル事業を実施した。</p> <p>また、4館目のリサイクルセンターを大泉地域と位置づけ、候補地の検討を行った。</p> <p>併せて、整備スケジュールの検討も行った。</p>	<p>新たな取り組みを実施している。</p> <p>また、4館目の候補地等を検討している。</p>	

項目 3

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして		
	2 ごみの発生抑制を優先する活動		
	(2) 事業所での発生抑制		
項 目	リサイクル推進店(エコストア)制度の見直し		
目 標	区内店舗との協定を締結すること		
取組み内容	a)事業者自らが、容器包装の減量目標等を定め、達成状況を報告するようなエコパートナーシップ制度を検討し、区内の店舗への導入を進める。	進捗状況	<p>エコパートナーシップ制度の区内店舗への導入に向け検討を行った。</p> <p>また、平成22年度に1店舗と協定を結ぶ事とした。</p>
			進捗評価
			検討の実施や22年度に協定の締結を予定している。

項目 4

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして		
	1 区民が進めるごみ減量・資源回収の促進		
	(1) 地域や家庭におけるごみ減量・リサイクル活動の促進		
項 目	区民が自主的に行うごみ減量・リサイクル活動の促進		
目 標	登録団体数および回収量を前年度より伸ばすこと		
取組み内容	a)集団回収団体の育成や集団回収による資源回収を増やすために、集合住宅への働きかけを行い、集団回収事業への参加を推進する。	進捗状況	<p>町会や集合住宅へ文書や口頭で勧奨を行った結果、集団回収登録団体は平成20年度末345団体であったが、平成21年度末には366団体に増加した。</p> <p>しかし回収量は、9,405 t から9,020 t に減少した。</p>
			進捗評価
			登録団体数は達成しているが、回収量は未達成となった。

項目 5

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして		
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進		
	(1) 資源回収事業の推進		
項 目	資源回収事業のしくみづくり		
目 標	回収場所の総数をごみ集積所数に近づけるとともに、回収量を前年度より伸ばすこと (財)練馬区都市整備公社への事業委託により効率的な運営がなされていること		
取組み内容	a)区民が、分別して出しやすいようにするため、回収場所の増設を進める。	進捗状況	<p>街区路線の回収場所は、平成20年度末は、10,318か所であったが、平成21年度末には、10,836か所に増加した。</p> <p>区民からの回収場所増設の要望は多く、今後も継続的に増加を図っていく。</p>
	b)資源化事業の拡大と効率化を進めるために、(財)練馬区都市整備公社の活用を進める。		<p>資源回収品目の一つである容器包装プラスチック回収を22年度に委託することとした。</p>
			進捗評価
			街区路線の回収場所は、増加している。
			進捗評価
			委託化を進めている。

項目 6

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(1) 資源回収事業の推進			
項 目	ストックヤード等の確保			
目 標	(仮称)練馬区資源循環推進センターを設置すること 粗大ごみおよび資源の持込可能な施設の運営をすること			
取組み内容	a)ストックヤードとして取得した敷地の活用として、資源循環事業の中核的拠点となる(仮称)練馬区資源循環推進センターを設置し、粗大ごみおよび資源の持込もできる施設とする。	進捗状況	平成21年10月から、(仮称)練馬区資源循環推進センターの建設工事が着工した。 平成22年4月からの粗大ごみおよび容器包装プラスチック収集業務を委託することとした。また、同年11月からは同センターの運営管理業務委託と粗大ごみや資源の持込に関しての方向性を示した。	進捗評価 (仮称)資源循環推進センターの建設を始めている。 持込に関する方向性を示している。

項目 7

体 系	取り組みの輪の広がりをめざして			
	1 取り組み推進のためのネットワークづくり			
	(1) 区民・事業者・区の交流とネットワークづくり			
項 目	区民・事業者・区による、情報交換や協議の場づくり			
目 標	懇談会を開催すること それぞれの立場で出来るごみ減量策を検討すること			
取組み内容	a)ごみ減量に向けた区民・事業者・区の三者による懇談会の開催を実施する。	進捗状況	ごみ減量懇談会では、ごみ減量・環境配慮等への取り組み状況について、店舗への聞き取り調査を実施した。調査は、レジ袋の削減やマイバック持参の推奨、再生品の販売などの視点で実施した。 開催日 平成22年3月17日 参加人数 26人 (14町会・自治会)	進捗評価 懇談会を開催し、区民の立場でごみ減量を実施するために、店舗の調査を行っている。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(2) 環境学習の推進			
項目	環境・3R関連講座の充実			
目標	地域における環境・リサイクル活動を行っている団体への支援や育成すること			
取組み内容	a)環境活動団体登録の継続と活動状況の紹介	進捗状況	環境活動団体を登録し、区のホームページにおいて活動紹介を行った。 登録団体 16団体	進捗評価 取組み内容を継続している。
	b)エコアドバイザーの育成と派遣事業の実施		平成21年4月に、「ねりまエコ・アドバイザー協議会」が設立され、その支援を行った。 ねりまエコ・アドバイザー・・・76人 情報提供誌の発行 3回 総会 1回 フォローアップ研修 1回	進捗評価 取組み内容を継続している。
	c)リサイクルセンターで、区民向け環境学習事業の実施		環境リサイクル講座やエコ生活講座などの講座を3リサイクルセンターで実施した。 参加人数 : 8,590人 講座数 : 141講座	進捗評価 取組み内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(2) 環境学習の推進			
項目	環境・3Rの学習機会の拡大			
目標	効率的な環境・3Rに係る普及・啓発事業を実施すること			
取組み内容	a)環境月間行事等の啓発事業を区民と共に実施	進捗状況	環境月間行事として「ECOの花を咲かせよう！」をテーマに、3カ所のリサイクルセンターを会場として、環境に関するパネル展示、体験講座等を行った。 環境の日に森田正光氏講演会「異常気象と環境問題」を開催した。 環境月間行事全体の来場者数・・・1,047人	進捗評価 取組み内容を継続している。
	b)清掃事務所が主となり、各種イベントでの啓発活動を実施		光が丘フェスティバル、けやきまつり、環境リサイクルフェア、武蔵関桜まつり、消費生活展、その他地区祭等に参加し、啓発活動を実施した。	進捗評価 取組み内容を継続している。
	c)地域での啓発活動として青空集会を実施		青空集会を実施した。 実施回数：24回 参加人数：997人	進捗評価 取組み内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(3) PR事業の推進			
項目	広報・PR活動の充実			
目標	3Rに関する情報の収集と提供を実施すること			
取組み内容	進捗状況	a)ねりま区報、区ホームページでのPR活動を実施	「ねりま区報」にリサイクル関連記事を14回掲載した。 21年度発行の「わたしの便利帳」に情報を掲載した。 練馬区情報番組「ねりまほっとライン」で情報を提供した。 テレホン・ファクスサービスで情報を提供した。 公式ホームページで情報を提供した。	進捗評価 取組み内容を継続している。
		b)外国人向けのパンフレット、リサイクルセンターの情報誌発行	不燃ごみ収集を変更するのに伴い、英語・中国語・ハンダ語・タガログ語の「簡易版練馬区の資源・ごみの分け方と出し方」を発行した。 更に、3リサイクルセンターでは、情報誌を月1回発行した。	進捗評価 取組み内容を継続している。
		c)清掃特集号の毎年度発行を検討	未実施	進捗評価 × 毎年度発行に向けて検討すること。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	1 普及・啓発と環境教育の推進			
	(3) PR事業の推進			
項目	環境・リサイクルフェア、講演会等の開催			
目標	各種イベントにおいて普及啓発活動を実施すること			
取組み内容	進捗状況	a)環境リサイクルフェアの開催	21年度 環境リサイクルフェアを開催した。 日時：平成21年10月18日(日) 午前10時～午後3時30分 会場：区立南町小学校 出展団体数：20団体 来場者数：約3万人 テーマ：練馬から広げよう エコの“環”	進捗評価 取組み内容を継続している。

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(1) 家庭での発生抑制			
項 目	家庭における生ごみの発生抑制・資源化の取り組みの継続			
目 標	生ごみの発生抑制策と資源化を継続すること			
取組み内容	a)家庭での生ごみ減量を推進するために、家庭用生ごみ処理機およびコンポスト化容器の助成事業を実施	進捗状況	家庭用生ごみ処理機およびコンポスト化容器購入費助成事業と生ごみコンポスト化容器のあっせん事業を継続した。 【購入費助成件数】 家庭用生ごみ処理機：150件 コンポスト化容器：62件 【あっせん件数】 生ごみコンポスト化容器 58件	進捗評価 取組み内容を継続している。

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(2) 事業所での発生抑制			
項 目	環境に配慮した事業活動の促進			
目 標	環境に配慮した事業活動の促進を図ること			
取組み内容	a)環境に配慮した事業活動を促進するための事業者向け講演会の実施	進捗状況	未実施 (22年7月8日に、(社)練馬産業連合会主催の環境セミナーで、所管課が講演を行った。)	進捗評価 × 事業者向けの事業を検討すること。

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(3) 庁舎等区立施設での発生抑制			
項 目	練馬区役所地球温暖化対策プランに基づくごみの発生抑制			
目 標	庁舎・区立施設等でのごみの発生抑制を図ること			
取組み内容	a)練馬区役所地球温暖化対策プランにおける「廃棄物の抑制・再利用・再資源(3R)の推進」	進捗状況	環境マネジメントシステムの「省エネルギーおよび省資源の推進に向けた手順書」を活用し、ゴミ分別の徹底や、飲食物等の容器のリサイクルを推進する等、練馬区役所地球温暖化対策プランの目標実現に向けた取組を推進した。	進捗評価 取組み内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(3) 庁舎等区立施設での発生抑制			
項目	区主催行事等でのごみの発生抑制			進捗評価
目標	区主催行事でごみの発生抑制を図ること			
取組み内容	a)ごみになり易いものの使用を控えるとともに、電子媒体等を利用し配布資料等の減量	進捗状況	環境リサイクルフェアでは、会場内にごみ箱を置かず、ごみの発生抑制と持帰りを図った。また、各課においては、「省エネルギーおよび省資源の推進に向けた手順書」を実践し、取り組んだ。	取組み内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(1) 再使用の促進			
項目	リサイクルマーケットの支援			進捗評価
目標	実施団体への支援を図ること			
取組み内容	a)リサイクルマーケット主催者への支援として、隔年で実施している養成講習会、公園使用許可、区報掲載等を実施	進捗状況	平成22年1月にリサイクルマーケット主催者養成講座を実施した。 参加人数 9名 区民が主催するリサイクルマーケットに対し、公園使用許可・資材貸与・区報PR等の支援を行った。 登録団体：55団体 支援回数：146回	取組み内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			進捗評価
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(1) 再使用の促進			
項目	大型生活用品の再使用の促進			進捗評価
目標	再使用大型木製家具等の展示、販売等を継続すること			
取組み内容	a)リサイクルセンターでの再生、再使用大型木製家具等の展示、販売	進捗状況	リサイクルセンターで大型家具等の展示販売を実施した。 販売実績：50,762点	取組み内容を継続している。
	b)大型生活用品リサイクル情報掲示板事業の継続と設置数増を検討		区立施設14か所の大型生活用品リサイクル情報掲示板への申込み状況は、以下のとおりであった。 譲ります：550件 (成立件数：281件) 譲ってください：120件 (成立件数：16件)	取組み内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(1) 再使用の促進			
項目	区立施設の物品類の再使用			
目標	備品等の有効活用を図ること			
取組み内容	a)遊休物品情報の提供	進捗状況	<p>各主管課からの依頼を受け、庁内グループウェアメールを通じて、不用品に関する情報を提供し、備品等の有効活用を促進した。</p> <p>【平成21年度実績】 34回、116品目、815点</p> <p>小・中学校の学習机、椅子など遊休物品については、所属換えあっ旋制度の周知と学校間同士の遊休物品の有効活用を図った。</p>	進捗評価
	b)区立図書館の除籍図書の有効利用		<p>リサイクル冊数：約65,000冊</p> <p>内訳 学校・施設への寄贈：約3,000冊 個人への提供：約62,000冊</p> <p>各館ごとに近隣の児童館・保育園等に除籍図書を提供した。また、個人利用者へもリサイクル本の提供を積極的に行った。</p>	進捗評価
				取組み内容を継続している。
				取組み内容を継続している。

体系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(2) 再生品利用の推進			
項目	再生品に関する情報提供			
目標	再生品の展示を継続すること			
取組み内容	a)情報提供の場として、リサイクルセンターで再生品の展示	進捗状況	<p>リサイクルセンターにおいて再生品などの展示販売を行い、普及啓発冊子などにより広報した。</p> <p>また、リサイクル講座で作成した再利用品も展示した。</p>	進捗評価
				取組み内容を継続している。

体 系	ごみを生み出さない社会をめざして			
	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(2) 再生品利用の推進			
項 目	公共事業、区施設等における再生品の率先利用			
目 標	公共事業、区立施設等における再生品の利用拡大を図ること			
取組み内容	a) 物品および資材の購入に際しグリーン製品購入の推進	進捗状況	グリーン購入手順書に基づき、各課において周知を図った。	進捗評価
				取組み内容を継続している。

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	1 区民が進めるごみ減量・資源回収の促進			
	(1) 地域や家庭におけるごみ減量・リサイクル活動の促進			
項 目	環境・3Rへの関心を高める働きかけ			
目 標	資源とごみの分別指導を実施すること			
取組み内容	a) 資源やごみの排出状況が良好でない集積所周辺への周知活動の徹底	進捗状況	区民、回収委託業者、清掃事務所等関係機関から広く情報を収集した。 排出状況に応じ、パンフレット、チラシの配布や看板の設置、町会回覧等を行った。 区民からの相談・情報をもとに、注意喚起ポスター掲示や排出調査等、排出状況の改善活動を実施した。	進捗評価
				取組み内容を継続している。

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	1 区民が進めるごみ減量・資源回収の促進			
	(1) 地域や家庭におけるごみ減量・リサイクル活動の促進			
項 目	再使用および再生品利用の促進			
目 標	再使用、再生品利用への啓発活動を実施すること			
取組み内容	a) さまざまな機会を利用して、再使用への呼びかけや再生品の利用を促すためのパンフレット等を発行	進捗状況	平成22年4月から不燃ごみ収集を変更するにあたり、3Rなどについての記事も掲載したお知らせチラシ等を発行し、全戸に配布した。	進捗評価
				取組み内容を継続している。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	2 事業者が進めるごみ減量・資源回収の促進			
	(1) 環境に配慮した事業活動の促進			
項目	事業者による資源の自主回収の促進			
目標	事業者の自主的な資源回収、ごみ処理を促すこと			
取組み内容	a) 事業者の自主的な資源回収、ごみ処理を促すため、廃棄物管理責任者を対象とした講習会の実施	進捗状況	事業者の自己処理責任に基づく自主的なごみの処理、資源の回収を促進するため、廃棄物管理責任者を対象に講習会を実施した。 実施回数：4回 参加者数：230人	進捗評価 取組み内容を継続している。
			b) 事業用大規模建築物への立入り指導	1,000㎡以上の事業用大規模建築物について立入調査を実施した。 立入件数 3,000㎡以上：56件 1,000㎡～3,000㎡未満：49件

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	2 事業者が進めるごみ減量・資源回収の促進			
	(1) 環境に配慮した事業活動の促進			
項目	自動販売機における容器等の回収設備の設置と資源化の促進			
目標	事業者の自主的ガイドラインに沿った設置がされるように要望すること			
取組み内容	a) 自動販売機での自主回収と資源化を促すように要望を実施	進捗状況	未実施 (実態の把握が難しいため、一部地域の実態を把握するなどの検討が必要である。)	進捗評価 × 設置事業者への呼びかけを検討すること。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(1) 資源回収事業の推進			
項目	区立施設でのリサイクルの推進			
目標	区立施設での古紙や生ごみ等をリサイクルすること			
取組み内容	a) 練馬庁舎、その他区立施設での古紙等の資源化	進捗状況	区立施設から発生するものについて資源化を実施した。 回収量、回収品目 練馬庁舎：212t 古紙、びん、缶、ペットボトル、トレイ、生ごみ、乾電池 他区立施設：754t 古紙、びん、缶、ペットボトル、トレイ、古布、乾電池、シュレッダ-紙	進捗評価 取組み内容を継続している。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(1) 資源回収事業の推進			
項目	区立施設でのリサイクルの推進			
目標	区立施設での古紙や生ごみ等をリサイクルすること			
取組み内容	b)区立施設、区立公園、区立小中学校、区立幼稚園における落ち葉のたい肥化	進捗状況	区立施設において、落ち葉のたい肥化を継続した。(地区区民館等) 区立公園でも実施した。また、チップ化も実施した。区立小中学校、幼稚園においても継続した。	進捗評価 取組み内容を継続している。
			c)区立施設、区立小中学校における生ごみのたい肥化	区立施設の生ごみ資源化は良好に進んでおり今後も維持を図る。 回収施設数：177カ所 回収量：1,195t

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(1) 資源回収事業の推進			
項目	資源回収事業のしくみづくり			
目標	既存の資源回収品目を継続すること。また、新たな資源回収品目を検討すること			
取組み内容	a)既存の資源回収品目の継続。回収計画量は、一般廃棄物処理実施計画により公表	進捗状況	実績量 計画量	進捗評価
			古紙 28,181t 26,929t	容器包装プラスチック以外は、計画量を達成している。
			古布・古着 952t 938t	
びん・缶 7,733t 7,018t				
ペットボトル 2,186t 1,979t				
乾電池 101t 95t				
容器包装プラスチック 5,505t 5,933t				
廃食用油 20t 20t	進捗評価			
b)効率的な資源回収システムの検討	事業ごとに回収車両台数の見直しを行うなど、より効率的で環境負荷の少ない回収方法の検討を継続した。 また、一部の資源回収を都市整備公社へ委託することとした。	進捗評価 取組み内容を継続している。		
c)新たな資源回収品目の検討	平成22年度開設予定の(仮称)練馬区資源循環推進センター開所にあわせ、新たな資源回収品目の検討を継続した。	進捗評価 取組み内容を継続している。		

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(1) 資源回収事業の推進			
項 目	集合住宅の管理者等に対する指導、助言			
目 標	集合住宅等の建築主等へ、資源と廃棄物に関する保管場所の設置や指導、助言をすること			
取組み内容	a)大規模集合住宅等への再利用対象物保管場所および廃棄物保管場所等の設置および指導・助言	進捗状況	【設置届受理件数】 3,000㎡以上：17件 1,000㎡～3,000㎡未満：34件 その他(1Rマンション等)：3件	進捗評価 取組み内容を継続している。
	b)集合住宅の管理者へ回収容器の貸出		集合住宅の希望に応じ、街区路線回収事業のコンテナ貸出しを行った。 貸出し件数 1,015件	進捗評価 取組み内容を継続している。

体 系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
	(2) 区民・事業者への支援			
項 目	区民の自主的なリサイクル活動への支援			
目 標	集団回収事業を継続すること。また、リサイクルの推進に功績のあった区民等を表彰すること			
取組み内容	a)集団回収事業の実施	進捗状況	重点的取り組み項目4に含む。 回収量：9,020 t (前年度比4%減) 登録団体数：366団体(同6%増) 支援内容 ・1kgあたり6円の報奨金を支給 ・案内板、雨よけシートの貸出し ・空き缶プレス機の貸出し	進捗評価 取組み内容を継続している。
	b)練馬区表彰条例を活用し表彰を検討		リサイクルの推進に功績のあった区民等の表彰を行うために、要綱を制定した。 平成21年11月1日施行	進捗評価 要綱の制定を行っている。

体系	多様なリサイクルシステムの構築をめざして			
	3 区が進めるごみ減量・資源回収の推進			
項目	(2) 区民・事業者への支援			
目標	事業者による自主的なリサイクル活動への支援 商店街オフィスリサイクル事業を継続すること。また、リサイクルの推進に功績のあった事業者を表彰すること			
取組み内容	a) 商店街オフィスリサイクルや事業系資源物の有料方式による回収事業の実施	進捗状況	商店街オフィスリサイクル事業を継続した。 【回収量】 オフィス古紙：15t 商店街ダンボール：54t 街区路線回収事業において、事業系びん・缶・ペットボトルの有料回収を継続した。	進捗評価 取組み内容を継続している。
	b) 練馬区表彰条例を活用し表彰を検討		リサイクルの推進に功績のあった事業者の表彰を行うために、要綱を制定した。 平成21年11月1日施行	進捗評価 要綱の制定を行っている。

体系	取り組みの輪の広がりをめざして			
	1 取り組み推進のためのネットワークづくり			
項目	(1) 区民・事業者・区の交流とネットワークづくり			
目標	それぞれの活動に関する情報提供 情報収集と情報発信のシステムを運営すること。			
取組み内容	a) ごみ減量・リサイクル活動等を自主的に行っている各種団体の実態の把握方法を検討	進捗状況	未実施 (自主団体が行うリサイクルについては、実態把握が難しい状況にあるため、まずは、区のリサイクル事業から事業者の自主回収に移行している資源の把握方法を検討する。)	進捗評価 × 各種団体や事業者が自主的に行っている実態の把握方法を検討すること。

体系	取り組みの輪の広がりをめざして			
	1 取り組み推進のためのネットワークづくり			
項目	(1) 区民・事業者・区の交流とネットワークづくり			
目標	区民・事業者・区による情報交換や協議の場づくり 練馬区環境清掃推進連絡会や事業者と連携しながら環境、清掃、リサイクルに関する事業を実施すること			
取組み内容	a) 町会・自治会等で構成している「練馬区環境清掃推進連絡会」や事業者等と連携しながら、環境・清掃・リサイクルに関する事業を実施	進捗状況	町会・自治会等で構成されている「練馬区環境清掃推進連絡会」と協働で、地域の環境・清掃・リサイクルに関する事業を実施した。 【21年度の主な活動内容】 ・区内一斉清掃 ・施設見学会 ・研修会 ・ポイ捨て・歩行喫煙防止キャンペーン協力	進捗評価 取組み内容を継続している。

体 系	取り組みの輪の広がりをめざして			
	2 計画推進のしくみづくり			
	(1) 循環型社会推進会議の運営			
項 目	会議の運営と位置づけの検討			
目 標	循環型社会推進会議の運営をすること			
取組み内容	a) 円滑な会議体の開催・運営	進捗状況	21年度は会議を3回開催した。会議では、容器包装プラスチックの中間処理施設の見学会や本計画の平成20年度の進捗状況の報告を行った。	進捗評価
				取組み内容を継続している。

体 系	取り組みの輪の広がりをめざして			
	2 計画推進のしくみづくり			
	(2) 区民・事業者の参画と実践の核となる推進組織づくり			
項 目	組織のあり方の検討			
目 標	実践の核となる組織づくりを検討すること			
取組み内容	a) ごみ減量懇談会で組織づくりについて検討（重点的取り組みの項目7で検討）	進捗状況	未実施 （ごみ減量懇談会は実施したが、組織づくりは未検討であった。）	進捗評価
				×
				組織づくりを進めること。